

令和8年度 第1回 吹田市都市計画審議会 概要

当日の流れ

(1) (仮称)北千里駅前地区第一種市街地再開発事業に係る報告

【報告事項】

前回都市計画審議会での検討事項に対する回答
第9回北千里駅前まちづくり意見交換会に係る開催概要
まちづくりの方向性について（抜粋）
都市計画（素案）について

(2) 質疑応答

開催日時・参加者

令和8年5月25日（月） 14時～15時30分

委員：出席19名、欠席：1名 傍聴者：3名（うち、報道機関：1名）

環境・景観に関する主な意見・質疑

- Q**：交通に関して、人の動線と近隣区画との関係性の話を入れたほうがいい。ウォーカブルを実現するなら、ただ繋がっているだけでなく、広場空間に近隣の方々が足を伸ばしたくなるような快適で楽しいといった仕掛け・工夫が大事。
- A**：動線と近隣区画との関連性については、環境影響評価手続きの中でも、オープンスペースをいかに生きたものにするかという観点での議論も景観部会で必要だといったご意見もいただいている。その辺りもしっかり議論した上で、11月の都計審で報告できるように進めていきたい。
- Q**：新たにできる東側の出入口でどのくらいの交通量があるのかわからないが、計画している道路幅員で大丈夫なのか。東側の出入口に対して、交通安全上の配慮をしっかりとっていただきたい。
- A**：南側の東西方向の道路の交通量については、おそらく増えると考えられる。それについては、警察協議や現時点での予測を踏まえながら検討しており、警察からは、交通渋滞やそれほどの危険性は発生しないだろうという見解はいただいているところ。
- Q**：緑やオープンスペースの周辺との繋がりといった、景観のあり方を確認していく手続きはどの時点で出来るのか。景観部会の次の段階で市や専門家との協議の場があるのか、従来の開発事業のように事業者がデザインし、緑化計画を提出し開発が進むことになるのか。
- A**：現在はあくまでも提案書に対する審査会の中での景観部会というところであり、今後も環境影響評価手続きは行われていくため、実際の計画に対しては評価書案の段階で議論が続いていくと考えている。